



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東  
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男  
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL)03(3899)2101  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,410	6.0	263	18.2	267	13.3	69	△48.5
27年3月期第1四半期	2,274	5.3	222	33.5	236	38.7	135	35.2

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 56百万円(△65.1%) 27年3月期第1四半期 162百万円(56.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	21.06	—
27年3月期第1四半期	40.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	13,709	9,894	70.9
27年3月期	13,775	9,903	70.6

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 9,715百万円 27年3月期 9,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,650	2.7	510	2.2	520	0.6	320	1.7	96.87
通期	9,850	2.7	1,200	1.3	1,220	0.9	760	3.5	230.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 新規 — 社(社名)、除外 1社(社名)株式会社星エンジニアリング  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	3,601,681株	27年3月期	3,601,681株
28年3月期1Q	298,340株	27年3月期	298,279株
28年3月期1Q	3,303,370株	27年3月期1Q	3,303,431株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融対策を背景に、景気は緩やかな回復基調が続きました。

医療・介護業界は、高齢者人口の増加による需要拡大が大きく期待されていますが、平成26年4月実施の診療報酬改定は実質マイナス改定となり、引続き厳しい対応を求められています。医療行政におきましては、社会保障・税の一体改革で描かれた平成37年の医療・介護の将来像の実現に向けた機能分化を推し進める医療制度改革をおこなっております。

このような環境のもと、当社グループは、医療・在宅・介護・福祉に関わる顧客ニーズの多様化と変化に即した柔軟な経営に努め、営業力の強化とノウハウの蓄積をおこなってまいりました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は2,410百万円（前年同四半期比6.0%増）と増収、利益面では連結営業利益は263百万円（前年同四半期比18.2%増）、連結経常利益は267百万円（前年同四半期比13.3%増）と増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は税金費用の負担増などから69百万円（前年同四半期比48.5%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## ①医療用ガス関連事業

当部門は、薬剤や医療機器の進歩と医療技術の発達によって入院日数が減少し、医療用酸素ガスの消費量は緩やかな鈍化傾向となっています。

このような環境のなか、医療用ガスの生産性と収益性を考慮し、安定供給と迅速な対応を旨とした営業努力を重ねた結果、売上高は829百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント利益は一過性のコストアップがあったことなどから44百万円（前年同四半期比45.7%減）となりました。

## ②在宅医療関連事業

当部門は、当社グループが、以前より注力して重要な収益源の一つとなっております。HOT（在宅酸素療法）等の診療報酬改定は2年毎におこなわれておりますが、次回平成28年度の診療報酬改定で報酬ダウンが予想されています。このような環境を踏まえ、きめの細かい営業活動をおこないました。患者様の日常生活のトータルサポートを目的に開発した自社製品「パレッツ」の出荷台数も徐々に増加しており、また「人工呼吸器」、「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）のレンタル台数も好調に推移しました。これらの結果、売上高は929百万円（前年同四半期比8.2%増）、セグメント利益は155百万円（前年同四半期比22.2%増）と増収増益となりました。

## ③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、メンテナンス・工事の両部門において、医療機関での耐震工事や建物の老朽化による増改築工事、メンテナンスの需要が継続しております。需要動向を分析し、丁寧な施工と計画的な営業活動に努めました。これらの結果、売上高は262百万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益は41百万円（前年同四半期セグメント利益1百万円）と増収増益となりました。

## ④介護福祉関連事業

当部門は、在宅や各医療機関や医療施設等への取扱商品の販売とレンタルの他、訪問看護・居宅介護支援事業所の運営管理をおこなっております。販売・レンタルにおきましては、取扱商品のラインナップを増やし幅広く営業することに努めました。また、訪問看護・居宅介護支援事業所は、平成26年8月に開設いたしました、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）も好評をいただいております、更なる顧客ニーズ対応と事業の拡大を図りました。これらの結果、売上高は125百万円（前年同四半期比26.1%増）、セグメント利益は新規事業の先行投資負担などから2百万円（前年同四半期比17.2%減）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホームと通所介護施設の運営管理をおこなっております。有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」(東京都杉並区)は、入居者様、ご家族様に「安全」「安心」「思いやり」を提供し、他施設との差別化を図るため、24時間看護師常駐、地元医療機関等との連携強化による付加価値サービスの向上に注力しました。また、今後の高齢者人口の増大を視野に、通所介護施設「あしつよ・文京」(東京都文京区)、「あしつよ 巣鴨」(東京都豊島区)に引続き、「あしつよ 王子」(東京都北区)を開設し、事業拡大に努めました。これらの結果、売上高は79百万円(前年同四半期比13.3%増)と増収でしたが、利益面ではセグメント損失12百万円(前期同四半期セグメント損失16百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は13,709百万円(前連結会計年度末比65百万円減)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が303百万円減少したこと、現金及び預金が89百万円、有形固定資産が124百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は3,815百万円(前連結会計年度末比56百万円減)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が60百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は9,894百万円(前連結会計年度末比9百万円減)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等による利益剰余金の増加4百万円とその他有価証券評価差額金の減少18百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社星エンジニアリングは、平成27年4月1日付で、当社を存続会社とし、当社の特定子会社である株式会社星エンジニアリングを消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、当該特定子会社が消滅いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更します。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,567,582	6,657,366
受取手形及び売掛金	1,960,862	1,656,993
たな卸資産	152,537	161,649
繰延税金資産	68,973	69,440
その他	71,242	91,162
貸倒引当金	△5,647	△4,500
流動資産合計	8,815,550	8,632,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	574,447	564,981
土地	1,995,024	2,044,816
その他(純額)	933,817	1,017,923
有形固定資産合計	3,503,288	3,627,721
無形固定資産	43,686	36,511
投資その他の資産		
投資有価証券	801,538	779,927
その他	612,639	634,773
貸倒引当金	△1,698	△1,696
投資その他の資産合計	1,412,479	1,413,003
固定資産合計	4,959,454	5,077,237
資産合計	13,775,005	13,709,349
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,908,698	1,848,541
未払法人税等	255,870	218,204
賞与引当金	125,300	166,800
その他	785,629	738,257
流動負債合計	3,075,497	2,971,803
固定負債		
役員退職慰労引当金	456,240	462,060
長期預り保証金	4,468	4,845
その他	335,221	376,451
固定負債合計	795,929	843,356
負債合計	3,871,427	3,815,160

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	9,015,185	9,019,711
自己株式	△510,823	△511,016
株主資本合計	9,454,249	9,458,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	242,977	224,545
退職給付に係る調整累計額	24,624	32,717
その他の包括利益累計額合計	267,601	257,263
非支配株主持分	181,726	178,342
純資産合計	9,903,577	9,894,189
負債純資産合計	13,775,005	13,709,349



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,274,488	2,410,132
売上原価	1,125,359	1,200,216
売上総利益	1,149,129	1,209,916
販売費及び一般管理費	926,298	946,532
営業利益	222,831	263,383
営業外収益		
受取利息	1,167	839
受取配当金	2,747	2,576
受取保険金	8,464	-
その他	2,027	2,096
営業外収益合計	14,406	5,512
営業外費用		
支払利息	1,023	1,150
営業外費用合計	1,023	1,150
経常利益	236,214	267,745
特別損失	-	86
固定資産除却損	-	86
税金等調整前四半期純利益	236,214	267,658
法人税等	98,808	200,793
四半期純利益	137,406	66,865
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,260	△2,698
親会社株主に帰属する四半期純利益	135,145	69,563

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	137,406	66,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,703	△17,498
退職給付に係る調整額	△1,132	7,504
その他の包括利益合計	25,570	△9,994
四半期包括利益	162,977	56,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,412	59,224
非支配株主に係る四半期包括利益	2,564	△2,353

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	837,325	858,820	248,684	99,552	70,098	2,114,482	160,006	2,274,488
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	14,780	—	—	14,780	—	14,780
計	837,325	858,820	263,464	99,552	70,098	2,129,262	160,006	2,289,268
セグメント利益 又は損失(△)	82,792	127,613	1,960	3,493	△16,972	198,886	25,299	224,186

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	198,886
「その他」の区分の利益	25,299
セグメント間取引の消去	△1,354
四半期連結損益計算書の営業利益	222,831

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	829,494	929,533	262,576	125,516	79,408	2,226,530	183,602	2,410,132
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	829,494	929,533	262,576	125,516	79,408	2,226,530	183,602	2,410,132
セグメント利益 又は損失(△)	44,951	155,973	41,121	2,892	△12,430	232,507	30,876	263,383

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	232,507
「その他」の区分の利益	30,876
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	263,383

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。